

電子デバイス産業新聞

2020年(令和2年)8月13日(木曜日)

●エピックエスト 全自動ロボ搬送 酸化装置を発売

(株)エピックエスト(京都市南区上鳥羽中河原51、☎075-693-3356)は、VCSEL(垂直共振器面発光レーザー)の製造向けに、全自動ロボ搬送の酸化装置「HIVOX 6001」を製品化した。すでに欧州デバイスメーカー向けに出荷を始め、今年度に国内向け2台、海外向け3台の受注を見込む。販売価格は税別6000万円。納期は5カ月。VCSELの製造工程

で、酸化工程は歩留まりを左右する極めて重要な工程であり、省力化など人的要因を軽減するためにも自動化が望まれている。新製品は、5枚のウェハートレイをロボ搬送で連続処理することが可能だ。

主な仕様・性能は、▽処理基板サイズ≪6インチ×1枚、4インチ×1枚、3インチ×3枚、▽加熱方式≪抵抗加熱方式(最高加熱温度600℃)、▽搬送方式≪全自動搬送ロボ搬送(5枚ウェハートレイ連続処理)▽モニター≪リアルタイム画像モニター機能。欧州からの引き合いに対応

するためCE認証も取得している。